

だれにも当てはまる日常のできごとを

人間味のある、あるがままの目でユーモラスに綴る

Cl diary #49

むーらん



chiaf

2014年10月4日（土）

買い物の前に母とレストランで食事。席に案内してくださった方が私に「前にローストビーフのことをお尋ねいただいた方ですね。お待たせいたしました」とにっこり。すぐにわからなかったのだが、前回ここへ来たときに、入り口に貼ってあったメニューのローストビーフを注文したら、「すみません、あれは10月からのメニューなのですよ」と申し訳なさそうに言うてくださった方だったのだ。その人の顔も、私は全然覚えていなかったのだけれど、彼女は私のことを覚えていてくださったのだ。

10月15日（水）

駅前のコンビニエンスストアに入って気がついたのだが、飲み物のところに「常温のお茶あります。かばんが濡れません」と書いてあり、冷蔵庫でない普通の棚にお茶が並べてあった。以前から、冷たいお茶を買ってかばんに入れると、水滴で中のものが濡れてしまうのが気になっていたもので、これはよい考えだなと思った。

10月25日（土）

母とスーパーで買い物をしていると、館内放送があり、駐車場の車のところに戻ってくださいと言っているよう。ナンバーをよくよく聞いてみると私の車ではないか！慌てて駐車場の車のところに戻ると警備員さんが立っていて「窓が全開だったから…気を付けてください」と。窓なんて閉まっているものだと思い込んでいたから。どうして開けてしまったのか自分でもわからない。でも私の不注意には違いない。

11月8日（土）

好きな歌手のコンサートのため東京へ。予約したホテルのある新宿で電車を降りたものの、さてホテルへはどちらへ行けばいいのだろう？地図はあるが、新宿なんて初めてだからまったくわからない…。そこで携帯電話をとりだして、コンパスの機能を使う。これで方角がわかった。こっちの方向へいけばいいのだな。こんなに小さい携帯電話のおかげで、無事にホテルに着くことができた。

12月6日（土）

一緒に買い物に行くのに母を迎えにいったら、なんだかどんよりした空気。母と弟が言い争いをしたらしい。母は車の中でもずっと黙っていて、ずいぶん機嫌が悪いみたい。車から降りるとき「あっ」と母。「怒っていたから財布を忘れたわ」買い物に行くのに財布を忘れるなんて…。感情を行動の言い訳にはできない。


12月18日（木）

昨夜から雪が降り出し、今朝は少し積もっている。慎重に歩いていたのだけれど、あと少しで駅というところで、雪に滑って派手にどた一んと尻もちをついてしまった。後ろを歩いていた男性が「大丈夫ですか」と声をかけてくださったのだけれど、私はあまりの恥ずかしさに「ありがとうございます」とだけ言って男性の顔すら見ないで、逃げるように駅に向かった。後から思うとちょっと愛想のない態度だったかも…。

12月27日(土)

最近マンションの自動ドアの調子が悪いなあ、とは思っていたのだけれど。今日帰ってみると管理会社の人や作業服を着た多くの人の姿が。自動ドアの修繕に来てくださったのだ。全部で5人くらいおられたかな。自動ドア1枚だけのことなのに、作業してくださっている人の人数の多さに驚いた。

(滋賀県滋賀郡CLインストラクター)

 [目次へ戻る](#)